

校 長 挨拶

本校全日制は、大正十四年開校の角館高等学校と、昭和三年開校の角館南高等学校が、平成二十六年に統合し、新生角館高等学校として誕生しました。両校の教えである「若杉精神」と「駒草精神」の双方を受け継ぎ、今年度八年目を迎えたところです。「若杉精神」とは「轟轟参天、国家棟梁の材」となる人材の育成であり、「駒草精神」とは高山植物の女王コマクサが吹きさらしの強風に耐え忍ぶ姿からイメージされる「清く賢く強い」人材の育成です。

『中学は角館に設立されればそれでよいとは思わぬ。それは尠なくも東北で尤も優良な中学にしなくてはならぬ』

これは、本校の前身である旧制角館中学の創設に尽力した平福百穂先生の手翰にある言葉です。この言葉から、どれほどの思いでこの中学が角館の地に設立されたのかをうかがい知ることができます。幾多の先人を輩出した、角館高校、角館南高校であります。その諸先輩に続けと、ここに新生角館高校の八年目がスタートしました。

今年度の本校全日制課程の教育目標は「郷土を愛し、この地域や国際社会で『棟梁之材』として貢献できる人材の育成」であります。先人らの足跡に負けじと、新生角館高等学校での三年間の高校生活で、一生涯の思い出とともに、広く社会で活躍できる人材になるための素養を身に付けてほしい、これが教職員全員の願いです。

結びになりますが、今後も仙北市唯一の高校として地域の期待に応えられるよう、人材の育成に邁進する所存です。今年度も、本校への皆様の変わらぬ御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、御挨拶といたします。

令和三年四月 秋田県立角館高等学校長 佐藤彰久